

2023 年 8 月吉日

PRESS RELEASE



川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

ONISHI
大西康明
Yasuaki



大西康明《虚実の距離》2020
高松コンテポライアート・フェスティバル2020 時と空を想像
高松市美術館 写真・表紙提供 高松市美術館
(参考作品)

TARO 賞の作家Ⅲ



境界を越えて

UCHIUMI
内海聖史
Satoshi



内海聖史《squid/no.2020-25》2020 photo by Ken KATO ©UCHIUMI SATOSHI

Transcend Boundaries :
The Artists of the Taro Award III

2023

10.14 Sat. — 1.14 Sun.

October 14, 2023 — January 14, 2024

主催=川崎市岡本太郎美術館

開館時間=9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日=月曜日(1月8日を除く)、11月24日(金)

12月29日(金)~1月3日(水)、1月9日(火)

観覧料=一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円

中学生以下無料 ()内は20名以上の団体料金



川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

WAKAKI
若木くるみ
Kurumi



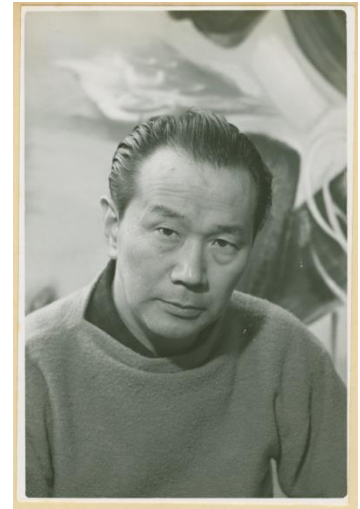
若木くるみ
《影版》2023



展覧会概要

既存の美術の枠組みを超えて幅広い分野で活動し、常に社会と関わり力強いメッセージを発信し続けた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)は、岡本太郎の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく創設されました。これまで26回を数えるTARO賞からは、国内外で活躍する作家を数多く輩出しています。当館では、本賞の受賞作家による選抜展を「TARO 賞の作家」というシリーズで開催してきました。

シリーズの第3回となる本展では、「境界」をテーマに内海聖史、大西康明、若木くるみの3名の作品を展示します。色彩豊かな絵画作品を制作する内海聖史。内海は、絵画は画面だけで完結するものではなく、空間の中にさまざまに配置することで、観る者の動きや感覚に働きかけるものとして、絵画のあり方を問いかけます。「あること」と「ないこと」の関係性を、一貫したテーマとして作品を制作する大西康明。私たちの日常の中に確かに在りながら、捉えられない事象を作品によって顕在化します。大学で木版画を学んだ後、自身が作品の一部となるパフォーマンス作品でTARO賞に参加した若木くるみ。森や波などの自然や日用品など、私たちの身の回りにある多様な素材を使い、版画の可能性を探ります。



岡本太郎 ポートレート

この数年、私たちを取り巻く世界のさまざまな「境界」が、かつてないほど揺らぎ、分断され、強く意識されるようになりました。3名の作家が紡ぐさまざまな「境界」は、私たちが自己の存在や自分を取り囲む世界について再考し、新たな視点を得るための手がかりとなるでしょう。

開催概要

展覧会名 TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて

会 期 2023(令和5)年10月14日(土)～2024(令和6)年1月14日(日)

会 場 川崎市岡本太郎美術館 企画展示室

休 館 日 月曜日(1月8日を除く)、11月24日(金)、12月29日(金)～1月3日(水)、1月9日(火)

観 覧 料 一般 1,000(800)円、高・大学生・65歳以上 800(640)円、中学生以下は無料

※()内は20名以上の団体料金

主 催 川崎市岡本太郎美術館

出品作家 ・内海聖史 第6回(2002年)入選

・大西康明 第5回(2001年)入選、第10回(2006年)岡本太郎賞

・若木くるみ 第12回(2008年)岡本太郎賞

同時開催 常設展「岡本太郎とスポーツ」 会期:10月5日(木)～2024年1月14日(日)

みどころ

- 国内外で活躍するTARO 賞出身の3名の作家が、「境界」をテーマに出品。各作家が作品の持ち味を生かした展示構成を行います。
- 絵画の見せ方にこだわる内海聖史が、展示室の空間を大胆に使い、大型作品や仕掛けを凝らした展示を行います。「絵画を見る」とは何かを来館者に問いかけます。
- 大西康明は本展で大規模なインスタレーション作品に挑みます。岡本太郎作品とのコラボレーションも必見です。
- パフォーマンス作品で評価されてきた若木くるみが、原点にもどり「版画」の可能性に挑みます。日用品や自然など、身の回りにある様々な素材を用いたユーモアあふれる「版画」をお楽しみいただけます。

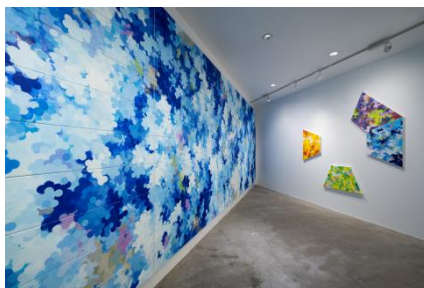
展示構成

- ・内海聖史 絵画作品 9 点
- ・大西康明 インスタレーション作品 1 点
- ・若木くるみ 版画作品 約 30 点

主な出品作品



大西康明
《虚実の距離》2020
高松コンテンポラリーアート・アニュアル
vol.09 時どきどき想像
高松市美術館
写真:表 恒匡 提供:高松市美術館
(参考作品)



内海聖史
《squid/no.2020-25》2020
photo by Ken KATO
©UCHIUMI SATOSHI



若木くるみ《影版》2023

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当:片岡 広報担当:山内(pr@taromuseum.jp)

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枡形 7-1-5 生田緑地内

TEL:044-900-9898 / FAX:044-900-9966

PRESS RELEASE



川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

関連イベント

○出品作家 3 名によるリレートーク

日 時:11 月 2 日(木) 15:00～

会 場:岡本太郎美術館 企画展示室

料 金:無料(要観覧料)

申 込:不要。開始 5 分前に企画展示室入口にお集まりください。

○若木くるみワークショップ「刷りとれ！生田緑地の凸凹探索」

出品作家の若木くるみさんと一緒に生田緑地の自然を版画にしてみましょう。

日 時:11 月 3 日(金・祝) 14:00～16:00

講 師:若木くるみ

○内海聖史ワークショップ

日 時:11 月 19 日(日)

講 師:内海聖史

○担当学芸員によるギャラリートーク

日 時:12 月 9 日(土)14:00～

会 場:岡本太郎美術館 企画展示室

料 金:無料(要観覧料)

申 込:不要。開始 5 分前に企画展示室入口にお集まりください。

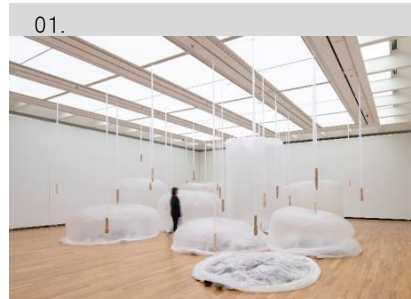
その他、関連イベントは当館ホームページで随時お知らせします。

<https://www.taromuseum.jp>





「TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて」



大西康明

01.
《虚実の距離》2020
高松コンテンポラリーアート・アニュアル
vol.09 時どきとき想像
高松市美術館
写真:表 恒匡
提供:高松市美術館

02.
《Distance between presence and
absence》2023
Schloss Werdenberg

*01.02.は参考作品

内海聖史
03.《遠くの絵画/no.2017-16》2017
04.《squid/no.2020-25》2020
05.《dual/no.2021-01》2021
06.《カーキな視界/no.2023-01》2023
photo by Ken KATO
©UCHIUMI SATOSHI



若木くるみ

07.《森版画》2020
08.《森版画》2020
09.《顔拓》2022
10.《影版》2023



※画像のご使用の際には、必ずキャプション・クレジットをご明記くださいますよう、お願いいたします。